

決 算 報 告 書

第1期（平成20年度）



自 平成20年 4月 1日

至 平成21年 3月31日

京都府公立大学法人

平成20年度 決算報告書

京都府公立大学法人

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金・府補助金収入	9,900	9,897	▲ 3	(注1)
自己収入	21,043	21,350	307	
授業料及び入学検定料収入	2,011	2,042	31	
附属病院収入	18,957	18,969	12	
財産処分収入	10	13	3	
雑収入	65	324	259	(注2)
受託研究等収入及び寄附金収入	1,367	3,665	2,298	(注3)
長期借入金収入	1,337	929	▲ 408	(注4)
計	33,647	35,842	2,194	
支出				
業務費	28,629	29,450	821	
教育研究経費	5,176	6,921	1,745	(注5)
診療経費	18,754	19,598	844	(注6)
一般管理費	4,699	2,929	▲ 1,770	(注5)
施設整備費等	1,599	1,115	▲ 484	(注7)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,367	1,611	244	(注8)
府償還負担金	2,052	1,924	▲ 128	(注9)
計	33,647	34,100	453	

(備考) 運営費交付金のうち、2,052百万円は、京都府償還負担金として予算措置され、京都府に同額を返還するため、法人の収入として収益化せず、損益計算書には計上していません。

(注1) 京都府からの補助金(感染症指定医療機関運営費補助金)が減となったことにより、予算額に比して3百万円の減となりました。

(注2) 科学研究費補助金の間接経費収益の増等により、予算額に比して2億円の増となりました。

(注3) 財団法人京都府医学振興会の業務が法人に移管されたことに伴い、寄附金等を21億円受け入れたこと等により、予算額に比して22億円の増となりました。

(注4) 外来診療棟関連整備費の一部を繰り越したことにより、予算額に比して4億円の減となりました。

(注5) 臨床系教員人件費の2/3を予算時には一般管理費に計上していたところ、決算時に教育研究経費に修正し計上しました。

(注6) 医薬品及び医療材料費の増及び賞与引当金の繰入等により8億円の増となりました。

(注7) 外来診療棟関連整備工事の一部を繰り越したことにより、予算額に比して4億円の減となりました。

(注8) 財団法人京都府医学振興会の業務が法人に移管されたことに伴い、寄附金事業費等が2億円の増となりました。

(注9) 府償還金の償還利率が確定したことにより、予算額に比して1億円の減となりました。